

3月5日 (Wed) Budapest

【巡検プログラム】

8:40	ホテル発
9:54	West bahnhof (ウィーン西駅)発
13:53	Keleti pályaudvar (ブダペスト東駅) 着
13:55	地下鉄 M2 Keleti pályaudvar 駅 → Deák F.tér 駅 地下鉄 M3 Deák F.tér 駅 → Dózsa György út 駅
14:10	ホテル発
14:15	地下鉄 M3 Dózsa György út 駅 → Nyugati pályaudvar 駅
14:20	West end にて昼食・施設内店舗見学
15:20	Nyugati pályaudvar 駅 (ブダペスト西駅) 外観見学 ①
13:50	Zsilinszky út 沿いの店で地図購入
16:05	郵便貯金局外観見学 ② (Szabadság tér → Október 6.u → Erzsébet tér → József nádor tér → Vörösmarty tér → Vigadó tér)
17:00	Vigadó tér にてドナウ川、ブダ地区を眺望 ③
17:20	路面電車 Vigadó tér → Petöfi tér
17:30	中央市場見学 ④
18:00	Váci 通りを見学
18:30	Vigadó tér にてドナウ川、ブダ地区を眺望 (夜景)
18:50	路面電車 Vigadó tér → Margitszeigt
19:00	夕食

① ブダペスト西駅

ブダペスト西駅は、フランスのエフェルの会社が受け持ち、1874年に完成した建築物である。ブダペスト市内には、南駅、東駅、西駅があるが、今後南駅は廃止、東駅はブダペスト市内におけるメインステーションとなり、この西駅は展示場としての転用が決まっている。

西駅の正面には、1877年に初めて走った路面電車が現在も通っており、マルギット橋を通過して、ブダ地区とペスト地区を繋いでいる。開通当時は交通の結節点であった西駅であるが、現在は「WestEnd」というショッピングセンターが隣接するなど、ペスト地区の中心的な場所であることに変化はないようだ。「WestEnd」の様な大規模なショッピングセンターや、路面電車の新車両を見ると、ブダペストも今変わっていているのだということを感じさせられた。



② 郵便貯金局

レヒネル・エデンが 1899-1901 年に建築した。レヒネルはハンガリー人・アール・ヌーヴォーの代表的な人物である。ハンガリー人・アール・ヌーヴォーは、自然を意識した曲線、装飾性という点ではウィーンのセセッション（ユーゲント様式）に似ているが、カラフルであることや、ハンガリーの陶磁器であるジョルナイを用いるといったことが特色である。

郵便貯金局は、貯蓄のシンボルとされる蜂が描かれており、玄関の扉の装飾は見事である。他の建築の外観が簡素な為か、余計に華やかなものとして感じられた。現在はハンガリー国立銀行として利用されている。



③ ドナウ川に望むブダ地区

Vigadó tér からは、右手には鎖橋、正面にはブダ地区の王宮、マーチャーシュ教会、漁夫の砦が、左手にはゲッレールトの丘にある勝利の女神像が見ることができる。低地のペスト側から見る丘の上にあるブダ地区の王宮は威圧的でありながらも壮観な光景であった。「ドナウの真珠」と呼ばれるのが納得されるほど見事な眺望である。このドナウ川を挟み、ブダ地区とペスト地区からなる一帯は、1987 年に世界遺産に登録されている。

我々が眺めていると、レーニン像が船で上流へと運ばれていた。「グッバイレーニン」のワンシーンを思わせる光景に一同興奮であった。



④ 中央市場

中央市場の屋根はハンガリー名産ジョルナイ製の瓦であり、とてもカラフルである。鉄とガラスによる建物の構造が、西駅を思わせる。中央市場は、1897年にオープンした。当時ブダペストは急激な人口増加を迎えており、急激に増大した住民の胃袋をまかなうには、定期的な青空市では限界であった。そこでドナウ川の河岸に位置し、食糧供給の場として、屋根つきの市場を建設した。その中央卸売場となったのが、この市場である。

現在では観光地として人気があり、一階には食品、二階は、飲食店、ハンガリー名産の刺繍などが売られている。そして、地下一階は、地元住民向けのスーパーがあり、現在においても、住民の食料調達の場としての役割を果たしているといえる。

交渉しだいでは安く商品を買え、ハンガリーの名産が多く売っている市場は、とても活気があり楽しい場所である。

